



国政レポート 令和7年9月臨時号

衆議院議員 高木けい

新しい時代へ! 日本列島を、強く豊かに。

自民党総裁選が始まりました!

■自民党は何を目指すのか

昨年の衆議院選挙、7月の参議院選挙で国政選挙2連敗、しかも衆参両院とも与党過半数割れという結果は、政権を担ってきた自民党に国民がNOを突きつけた結果とみるのが普通です。そしてその結果の責任は誰かが取らねばならないのは、政界に限らずどの世界も一緒です。

遅きに失したとは言え、9/7（日）夕刻、石破総裁が辞意表明、10/4（土）に向けて自民党総裁選挙が始まっています。

二度の国政選挙の敗因は限りなく多岐にわたると思いますが、その中でも最大のものは何かと問われれば、それは自民党の「体質の変化」と「政策の間違い」の2つに集約されると考えます。

「体質の変化」とは自民党の左傾化です。

「政策の間違い」とは特に経済政策、負担感を和らげてほしいという、国民の切実な思いに寄り添えなかったことです。

「体質」も「政策」も、自民党は変えることができるはずで、立党の原点である「保守政党」として、綱領に掲げたように「政治は国民のもの」という原則に立ち返ればいいのです。そのことなくして、自民党の再生はありません。

私はそれを体現できる自民党総裁候補は、高市早苗衆議院議員であると確信します。

前回の総裁選でも、私は高市早苗衆議院議員の総裁選を支えましたが、それは安倍総理が目指した「戦後レジームからの脱却」を、最も的確な政策で実現してくれると考えたからです。「戦後レジーム」とは何か。それは皇室のご存在を揺るぎないものにするための皇位継承問題や憲法改正に取り組みず、わが国を強く豊かにすることやわが国の尊厳と国益に対して明確なビジョンを持たないなど、「戦後民主主義体制」に安住することにほかなりません。



わが国の平和と安定、そして豊かさを実感できる国をつくるために、私は高市早苗衆議院議員と共に、全力で総裁選を戦います。皆様の大きなご支援を、よろしくお願い申し上げます。

■「外国人問題」はなぜ有権者の心の琴線に触れたのか

都議選、参院選を通じて、一つの大きな政策テーマになったのは外国人問題でした。訪日外国人の増加は、一時的にしる長期的にしる、コロナ禍の時期を除き、近年増加の一途をたどっているのはデータで示す通りです。

そしてデータと軌を一にして、体感としての「不安」や、現状を肯定しづらくなっている事例が増えてきたため、大括りでの「外国人問題」が選挙の大きな政策テーマになったのだと思います。

例えば、観光地のオーバーツーリズム、安易な外免切替やハードルの低い「経営・管理ビザ」（現在ルール改正に向け、パブリックコメント実施中）、外国人経営の集合住宅や違法民泊、小中高等学校の外国人児童・生徒の増加など、いままでと違う人と文化の流入に対して、政治の明確な方向性が見えなかったことが、国民の不安をかき立てたのだと思います。



先日、台湾のケーブルテレビ局（鏡電視）が、私の話を聞きたいと取材にられました。

取材内容は「日本の中国人移住の現状と対策」。

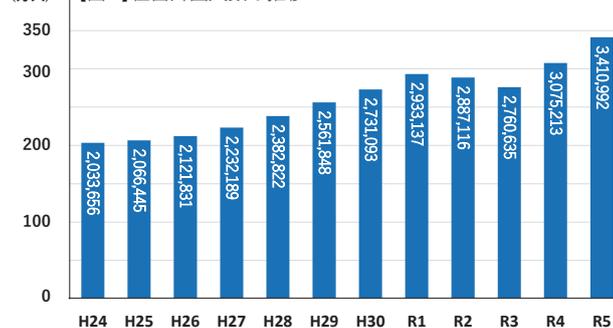
台湾においても中国人口が増えており、日本の現状と対策を聞きたいとのことでした。わが国は人口減少かつ高齢化社会に入り、労働力人口が減ることで、多くの業種で人手不足となっています。現状に

おいて資本による労働代替率が低い（DX、省人化、省力化投資の圧倒的不足による）わが国は、人が足りないから低賃金の外国人労働（技能実習制度などはこの典型でした）…という単純な対策では早晚行き詰ることが明らかですから、「外国人政策」という大きなカテゴリーで、わが国の社会全体の課題として、早急に検討を深め対応に乗り出さなければなりません。その際大事なことは、わが国に来る外国人一人一人の基本的な人権は尊重されなければならないこと、そして正式な許可を受けて永住となった場合、高齢になった時の社会保障、また亡くなられたあとの墓地の問題を含め、一人一人の外国人固有の文化や宗教に及ぶ私たちに馴染みのない課題にも向き合い対処しなければならないことも覚悟し、更に様々な問題が起こるのは生活の場であることが多いので、地方自治体に外国人の対応を丸投げすることはやめるなど、国としてやるべきことは山積しています。日本人も外国人も快適に暮らせる、真の「共生社会」をつくるためのルールが必要と考えます。

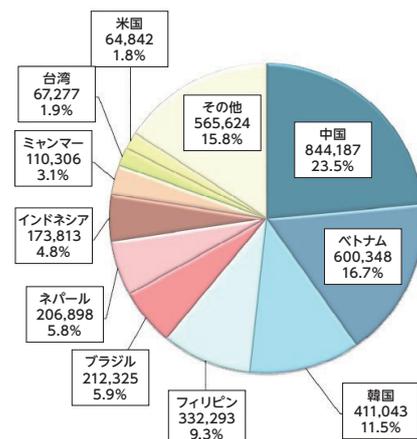
世界が時間的空間的に益々狭くなる中、わが国を秩序のない国にしてはなりません。自民党は先の参院選の結果をわが国への警鐘と受け止め、国民の多くが納得する対策を立てなければなりません。

そのために、私はこれからも全力で取り組みます。

【図1】在留外国人数の推移



【図2】国籍・地域別 在留外国人の構成比(令和6年6月末)



王子本町事務所

〒114-0022
北区王子本町1-14-9-202
ヴェージュ エスコルタ
電話:5948-6790
FAX:5948-6791

板橋事務所

〒174-0046
板橋区蓮根1-26-7-1F
シューファイテラス
電話:5930-5765
FAX:6783-3017

国会事務所

〒100-8982
千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館310号室
電話:3508-7601
FAX:3508-3981



自民党員を募集しています!

入党のお申し込みは高木けい事務所までご連絡ください。

自民党は国民政党として広く
国民の支持をいただくために、
常時党員を募集しています。

一般党員(年額4,000円)

家族党員(年額2,000円)